



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: <https://npb.jp/>



2021年6月18日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

5月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の5月度受賞選手が決定いたしました。
受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

岡本 和真
(読売ジャイアンツ)
初受賞

岡本和選手は、5月9日(日)東京ドームで行われた対東京ヤクルトスワローズ7回戦、1点ビハインドで迎えた9回裏1死1、2塁の場面で打席に立つと、ライトスタンドへ運ぶ逆転サヨナラ3点本塁打を放ち、緊迫した接戦を制す一発を放った。

読売は、来日初登板となった東京ヤクルト・サイスニード投手に対して3点を奪い順調な滑り出しを見せるが、7回表に連打や守備の乱れが重なり5対3と逆転を許してしまう。8回裏に岡本和選手がソロ本塁打を放ち追走するも、9回表終了時点で5対4と東京ヤクルトが1点リード。後がない中で迎えた9回裏、1死1、2塁と一発逆転のチャンスを作ると、再び打席には岡本和選手。前の打席で本塁打を放った主砲は、カウント1-1からの3球目を捉え、打球はそのままライトスタンドへ突き刺さった。4番打者として4年目を迎える若き主砲は、母の日に2発の本塁打と自身初のサヨナラ打を達成するなど、今年初めての試みとなった「NPBマザーズ・デー」に花を添えた。

なお、読売での4番打者の逆転サヨナラ本塁打は2017年4月1日の阿部慎之助氏に次いで5人目。また、読売で2打席連続本塁打の2本目が逆転サヨナラ弾となったのは1971年7月11日上田武司氏以来、50年ぶり2人目。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

該当試合無し



月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: <https://npb.jp/>

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (横浜DeNA)	田中 賢介 (北海道日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (北海道日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島東洋)	柘田 慎太郎 (東北楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (東北楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (千葉ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (東京ヤクルト)	B.レアード (北海道日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (東京ヤクルト)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島東洋)	嶋 基宏 (東北楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
9月度	石原 慶幸 (広島東洋)	片岡 治大 (埼玉西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	B.レアード (北海道日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (横浜DeNA)	B.レアード (北海道日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (埼玉西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (千葉ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島東洋)	A.ジョーンズ (東北楽天)
5月度	梵 英心 (広島東洋)	加藤 翔平 (千葉ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (横浜DeNA)	今宮 健太 (福岡ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (埼玉西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (千葉ロッテ)
9月度	T. ブランコ (横浜DeNA)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鶴久森 淳志 (東京ヤクルト)	聖澤 諒 (東北楽天)
5月度	荒木 貴裕 (東京ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (福岡ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (東京ヤクルト)	J. アマダー (東北楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島東洋)	A.デスパイネ (福岡ソフトバンク)



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: <https://npb.jp/>



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
5月度	山下 幸輝 (横浜DeNA)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
6月度	山田 哲人 (東京ヤクルト)	上林 誠知 (福岡ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島東洋)	山下 斐紹 (東北楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	Y.グラシアル (福岡ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (東京ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (東京ヤクルト)	中田 翔 (北海道日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (東北楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
9、10月度	N. ソト (横浜DeNA)	E. メヒア (埼玉西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	A. ロドリゲス (オリックス)
8月度	上本 崇司 (広島東洋)	山川 穂高 (埼玉西武)
9月度	吉川 尚輝 (巨人)	茂木 栄五郎 (東北楽天)
10、11月度	高橋 周平 (中日)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)

2021年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	亀井 善行 (巨人)	岡 大海 (千葉ロッテ)
5月度	岡本 和真 (巨人)	—
6月度		
7、8月度		
9月度		
10月度		

(参考)過去の年間大賞 受賞選手

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島東洋)	小久保 裕紀 (福岡ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (北海道日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2015年度	雄平 (東京ヤクルト)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島東洋)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
2018年度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
2019年度	高山 俊 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
2020年度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)